

地域密着型金融の取組み状況（20年4月～21年3月）

（塩沢信用組合）

1. 項目	<p>【大項目】ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化                  【小項目】経営改善支援</p>
2. タイトル	<p>「がんばる地元企業」へ価格競争から非価格競争への転換、ビジネスマッチング・サービス、経営診断を実施し「事業の継続と成長」を支援する。</p>
3. 動機（経緯）	<p>「第8次中計の経営戦略3」「がんばる地元企業応援戦略」のもと経営者と営業店が一体となり、組合をあげて「真の地域密着型金融」の実現に向けて取組むこととした。</p>
4. 取組み内容	<p>①20年8月10日までに、各営業店より3先の「がんばる地元企業」を選択し、経営者と取組みについてヒアリングを実施し、承諾を得ました。                  ②20年8月9日に各営業店において経営者の参加のもと「がんばる地元企業」支援結成式を行いました。                  ③「がんばる地元企業」先の個々に対して21年9月末達成の数値目標を設定しました。                  ④毎月の店長会議において実施状況を確認しました。                  ⑤21年9月末最終としてあり、現在も継続して取組んでいます。                  ⑥取組内容は個々により相違していますが、基本的には「リピーター増加策と小口多数戦略」による収益力アップです。</p>
5. 成果（効果）	<p>①PRの為の独自ポスター・パンフの作成により集客強化が図られました。                  ②中小企業診断士派遣により経営者の方針等ヒアリングを行ない今後の取組の参考にしました。                  ③具体的成果は現在まで出ていません。</p>
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】                  ・「がんばる地元企業」先の一定のレベルアップが図られました。                  ・資金ニーズの対応を実施しました。                  【今後の課題】                  ・生産者と販売先とのマッチング、リピーター増加策と小口多数戦略に対する具体的な提案をして行くことが今後の課題です。</p>

地域密着型金融の取組み状況（20年4月～21年3月）

（塩沢信用組合）

1. 項目	<p>【大項目】事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底          【小項目】担保・保証に過度に依存しない融資の推進</p>
2. タイトル	<p>信用格付を利用した無担保・無保証融資の推進</p>
3. 動機（経緯）	<p>「人を見て・企業を見て」の融資実行に向けて取組むこととし、フェイス・トゥ・フェイスの関係の確立と組合員である取引先のニーズを踏まえた業務戦略を構築する。</p>
4. 取組み内容	<p>①融資部による毎月1回の定例臨店（動く審査・管理）時に融資案件相談を実施しました。また、「相談メモ」の活用により審査時間を短縮、クイックレスポンス態勢の確立と実行をしました。          ②信用格付等の利用により法人・個人事業者向けの無担保、第三者保証人無しの融資「VIP3000」の推進。          ③毎月「全店一斉融資推進日」を設けて取引先の経営相談や資金ニーズの対応に取組みました。</p>
5. 成果（効果）	<p>① 無担保、第三者保証人無しの融資「VIP3000」は1先13百万円の実行に終わりました。          ②「全店一斉融資推進日」を年間24日実施し、取引先の経営相談や資金ニーズの対応に取組み緊急融資等実行しました。</p>
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】          ・無担保、第三者保証人無しの融資「VIP3000」は実行先が少なく取組みが不十分でした。          ・昨年秋からの経済不況に対して取引先の経営相談や資金ニーズの対応に取組み資金提供が出来ました。          【今後の課題】          ・「融資部による臨店融資相談」「全店一斉融資推進日」の実施日を多くし、より多くの取引先の経営相談や資金ニーズの対応に取組む必要があります。</p>

地域密着型金融の取組み状況（20年4月～21年3月）

（塩沢信用組合）

1. 項目	<p>【大項目】地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p> <p>【小項目】地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>
2. タイトル	<p>地域の観光産業活性化に伴う塩沢信用組合本店の「観光開店」</p>
3. 動機（経緯）	<p>当組合本店がある旧塩沢町で、地元が生んだ「北越雪譜」の作者「鈴木牧之」に因み「牧之通り」としての地域開発「蔵造りと雁木通りの町並み復元」に賛同し、平成18年5月に当組合本店は「蔵」をイメージした店舗に新装開店しました。職員のユニフォームは、塩沢織物協同組合へ依頼して「本塩沢」を使用して作り、ロビーの椅子は畳面とし、居心地の良さを追求しました。同時に「牧之通り」の活性化に向けた取組みを開始しました。</p>
4. 取組み内容	<p>《観光支援事業》</p> <p>① 2月14日から毎週土日10時から16時まで地元観光事業の一環として「観光開店」をしています。お客様へ「天地人」「ひな雪見かざり」「雪譜まつり」「鈴木牧之」等地元観光事業および地元名産品のPRを実施しています。〈牧之通り組合・射干（しゃが）の会と連携〉</p> <p>② 2月21日の「雪譜まつり」では、お客様による琴のミニコンサートを実施しました。</p> <p>③ 地元商工会および「天地人」推進室との連携により、関連ポスターや資料を店内に展示し地域の雰囲気アップを実施し、情報発信や気軽にお茶が飲めるビジターセンター的な場となっています。また、事業先には「天地人」に因んだ商品開発を提案、必要であれば資金相談にも応じています。</p>
5. 成果（効果）	<p>① 「天地人」「ひな雪見かざり」の観光客が2月14日から3月29日まで（実動14日間）で延べ約3,000人来店してくれました。</p> <p>② 地元名産品のPRにより地元商店の売上向上およびリピーター客の増加に貢献しました。</p>

<p>6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題</p>	<p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「天地人」「ひな雪見かざり」「地元名産品」の観光客へのPRにより地元商店の売上向上およびリピーター客の増加に貢献できました。</li></ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・牧之通り組合・射干（しゃが）の会・地元商工会・「天地人」推進室との更なる連携強化。</li><li>・「牧之通り」の拠点となったイベントの継続実施。</li><li>・NHK大河ドラマ「天地人」を通じた地元活性化に行政や公的機関と連携して応援体制をとり、観光開発等支援融資の提供をする。</li></ul>
--------------------------------------	---